

新型 大声測定装置

その声、限界突破。新型大声測定器登場！

叫びを数値化せよ。次世代大声測定システム

歓声を見える化！パワーアップした大声測定器

あなたの声は何デシベル？進化版大声測定器

取扱説明書

2026年3月6日



〒780-0991 高知県高知市宗安寺 591-1

電話：(088) 843-1601 携帯：090-3041-6033

WebSite: <https://shikokudenshokugei.jp/> E-Mail: info@shikokudenshokugei.jp

ご利用のお客様へ

- ✦ この度は弊社「新型大声測定装置」をご利用いただき、誠にありがとうございます。
- ✦ 本製品は業務用機器です。本取扱説明書（以下「本書」）に記載された内容を理解し、遵守してご使用いただくことを前提としてレンタル提供しております。
- ✦ 本書の内容をご確認いただけない場合、または記載事項を遵守いただけない場合のご利用はお断りいたします。
- ✦ ご使用前には必ず本書を最後までお読みいただき、本番前に十分な動作確認およびリハーサルを実施してください。
- ✦ 弊社は発送前に動作確認を行っております。到着後の事前確認を行わず本番で使用された場合に発生したトラブルについては、責任を負いかねます。



■ 免責事項

1. 本書に記載された方法以外での使用に起因する故障・事故・損害について、弊社は一切の責任を負いません。
2. 本製品の使用または使用不能により生じた営業損失、逸失利益、イベント中止損害、間接損害、特別損害等について、弊社は責任を負いません。
3. 本製品の故障等により生じた人身事故、火災事故、第三者損害等についても、弊社は責任を負いかねます。
4. 天災、停電、電源異常、外部要因による障害については補償の対象外とします。

- 目 次 -

Page 1	表紙
Page 2	ご利用のお客様へ (重要)
Page 3	目次
Page 4	1. はじめに
Page 5	2. 大切な電源について
Page 6-7	3. おもな機能／4. 基本セットの内訳／5. 機器の紹介
Page 8-9	6. 各機器の梱包／ワンポイント！！
Page 10	7. 機器の接続 (全体図)
Page 11	8. 機器の接続 (個別)
Page 12	9. キャノンコネクタの接続方法
Page 13	10. スタンド
Page 14-15	11. 設置方法 (騒音計マイクユニット)
Page 16	12. 設置方法 (表示機)
Page 17-18	13. 設置方法 (スタンド注意事項)
Page 19	14. 最初は設定を変更しないでテストしてください 15. 動作の確認方法
Page 20	16. 騒音計マイクユニット
Page 21-22	17. 表示機背面のパネル
Page 23	18. 操作卓パネルの説明
Page 24-25	19. 設定方法 (操作卓)
Page 25-26	20. 記憶できる設定内容
Page 27-29	21. 操作卓液晶画面 (設定モード) / 設定内容の確認
Page 30-31	22. 操作卓液晶画面 (通常計測)
Page 32	23. 操作卓液晶画面 (予選計測)
Page 33-34	24. 操作卓液晶画面 (任意値表示)
Page 35	25. 操作ボタンと動作
Page 36	26. 利用方法 通常の計測モード
Page 37	27. 利用方法 予選計測モード
Page 38-39	28. 効果音
Page 40	30. 梱包サイズと重量
Page 41	31. あと片づけの注意
Page 42	32. 機材チェックシート (見本)
Page 43-45	32. よくある質問と答え、お問い合わせ先
Page 46-47	33. 予備騒音計の利用方法、予備騒音計の取り付け方
Page 48	34. 設定値の初期化方法 (出荷時の状態に戻す)
Page 49	機器の取扱いおよびお問い合わせについて (重要) お問い合わせ先

1 はじめに

- ✚ 本機は精密電子機器です。
- ✚ 不適切な設置・配線・電源環境は重大な事故や故障の原因となります。
- ✚ 安全かつ円滑なイベント運営のため、以下の事項を厳守してください。

■ 設置および安全管理

- 配線は来場者・出演者の動線を考慮し、転倒事故防止措置を講じてください。
- ケーブル固定には養生テープ（粘着力の弱いもの）を使用してください。
- 紙テープ（クラフトテープ）および布テープ（ガムテープ）の使用は禁止します。
- 屋外使用時は転倒防止措置（固定・机上設置等）を必ず実施してください。
- 本機は防水・防滴仕様ではありません。水濡れ環境での使用は禁止します。
- 直射日光・高温環境での長時間使用は避けてください。
- 落下、衝撃、乱暴な取り扱いを禁止します。
- 分解・改造・内部への接触は禁止します。

■ 運営上の注意

- 本番前に必ずリハーサルを実施してください。
- 参加者の予期せぬ行動を想定し、安全対策を講じてください。
- 注意表示の掲示等、主催者としての安全配慮義務を果たしてください。

■ 異常時の措置

- 異常音・異臭・発煙等を確認した場合は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。
- 安全が確認できるまで再通電しないでください。
- 速やかに弊社へご連絡ください。

2 大切な電源について

- ✚ 本機は AC100V (50/60Hz)、消費電力 200W 未満 で動作します。
- ✚ 安定した電源でご使用いただくことが、トラブル防止のポイントです。

本機の定格は以下の通りです。

- 定格電圧：AC100V
- 周波数：50/60Hz
- 消費電力：200W 未満

安定した「一般電源」での使用を推奨します。

■ 使用禁止または注意が必要な電源

- 調光電源（照明用電源）
- 電圧変動の大きい発電機
- 不安定な仮設電源

これらの電源で使用した場合、正常動作を保証できません。

■ 延長コード使用時の注意

電線には抵抗があり、長距離配線・タコ足配線は電圧降下を招きます。

以下の行為は禁止または非推奨とします。

- ・長距離（例：30m ドラム複数直列接続）
- ・消費電力の大きい機器との同一回路使用
- ・細いコードの使用

電圧低下により機器が誤作動・停止した場合でも、弊社は責任を負いません。

配線は、「短く・太く・接続箇所を少なく」を原則としてください。

■ 電源確認義務

壁コンセントから直接取得する電源でない場合は、施設管理者へ

「電子機器（パソコン等）使用可能な電源であること」を確認してください。

最後に

本製品は、適切な設置・適切な電源・適切な運営により、安全かつ効果的にご利用いただけます。

安全管理は主催者様の責任において実施していただきますようお願いいたします。

四国電飾工芸は、皆様のイベント成功を心より願っております。

3 おもな機能

●計測タイミング通知機能（騒音計マイクユニット）

ブザーおよびLEDにより、計測タイミングを光と音でお知らせします。

●予選モード到新機能追加

従来の「プリセット値以上を予選通過（効果音♪）」とする機能に加え、次の機能を搭載しました。

- ・任意に設定した基準値以上を予選通過とする機能
- ・任意に設定した上限値から下限値までの範囲内を予選通過とする機能

●計測時の表示モード（3種類）

- ・リアルタイム：計測中の値をそのまま表示
- ・ランダム：計測中にランダムな数値を表示（演出用）
- ・ピークホールド：リアルタイム計測中の最大値を保持表示

●カウントアップ表示／一発表示

- ・カウントアップ：測定値を設定下限から上昇変化しながら演出表示
- ・一発表示：ボタン操作により即時表示

●最高得点記憶・修正機能

最高得点を記憶・表示し、必要に応じて修正が可能です。

●任意値表示機能（最大4桁）

表示機へ任意の数値を表示できます。

●押し消し機能

結果発表後に発表ボタンを押すと、表示を点滅させることができます。

●測定レンジ設定機能（デシベル／ポイント対応）

- ・30～130dB 表示／0～100pt 表示（出荷時設定）
- ・0～9999 の範囲で上限値・下限値を任意設定可能

●初期化機能（出荷時設定へ復元）

設定内容が不明になった場合でも、簡単に出荷時設定へ戻すことができます。通常のご利用では、特別な設定作業を行わなくてもそのまま使用可能です。

- 操作禁止機能
- 最高得点更新時のアクション演出
- 制御系効果音の個別 ON/OFF



4 基本セットの内訳

- (1) 操作卓：1台（ACアダプタ付属 12V2A）
- (2) 騒音計マイクユニット（デジタルタイプ）：1台
- (3) 騒音計マイクスタンド：1台
- (4) 表示機：1台（ACアダプタ付属 12V5A）
- (5) 表示機スタンド：1台
- (6) 操作卓⇄騒音計マイクユニット通信ケーブル 15m：1本
- (7) 操作卓⇄表示機通信ケーブル 15m：1本
- (8) マニュアル 機材チェックシート：各一部
- (9) 予備の騒音計（表示機には接続できない）



※お届けするマイクの種類は稼働状況により変更となる場合がございます。

5 機器の紹介



<表示機>



<騒音計マイクユニット デジタルタイプ>



<操作卓と電源アダプタ>



<スタンド2種類>



<ケーブル 15m>

【重要】電源アダプター、ケーブル等は、弊社がお届けした付属品以外を許可なく接続しないでください。外形やコネクタ形状が同一であっても、電圧・電流容量・極性・内部配線仕様が異なる場合があります、誤った接続は機器の故障や事故の原因となります。弊社指定外の機器・部材の接続に起因する不具合・損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

6 各機器の梱包

出荷時に点検を行っておりますが、輸送中の振動により、スタンド等のネジ類が緩み、梱包箱や袋の中に外れている場合がございます。ご使用前に必ずご確認ください。

- ・ベルトはワンタッチロック式（長さの調節は不要です）
- ・ベルトを持って機器を持ち運ばないでください



＜騒音計 2 台とテスト用電池＞
予備の騒音計は表示機には接続できません
電池はテスト用を付属



＜操作卓＞
箱に入れたままでご利用いただいても結構です。
A Cアダプタ（12V2A）は
操作卓と一緒に収納してください。



● 箱には表示機本体のみを収納してください。

- 出し入れは2人で。収納ガイド板は内側に曲げて閉めてください
- 本箱はサイズが限られているため収納にお手間をおかけしますが、破損防止のため丁寧にお取り扱いください。

ワンポイント！！



- ✚ 騒音計マイクユニットまでの距離を一定に保つため、足元にラインを引いてください。
- ✚ 表示機は、操作卓オペレーター、司会者、参加者、観客のいずれからも見やすい位置に配置してください。

7 機器の接続（全体）

設置の手順

1. 操作卓、騒音計マイクユニット、表示機の設置場所を、ケーブルの長さおよび電源位置を考慮して決定してください。
2. 操作卓および表示機用に、AC100V 電源（消費電力合計 200w 以下）をそれぞれ準備してください。
3. 騒音計マイクユニットおよび表示機を、各専用スタンドへ確実に取り付けてください。
4. 操作卓 ⇄ 騒音計マイクユニットを、通信ケーブル（キャノン 4Pin・15m／コネクタ部：黄色）で接続してください。
5. 操作卓 ⇄ 表示機を、通信ケーブル（キャノン 5Pin・15m／コネクタ部：緑色）で接続してください。
6. ※通信ケーブルにはオス・メスの区別があります。操作卓側へオスを接続してください。



8 機器の接続（個別）



<操作卓と電源ACアダプタ 12V5A>



<表示機ウラ面>

<表示機へ5Pin通信ケーブルと電源を接続>



<電源 ACアダプタ 12V5A>

確実に差し込んでください



< (左) 5Pin・(右) 4Pin 通信ケーブル >

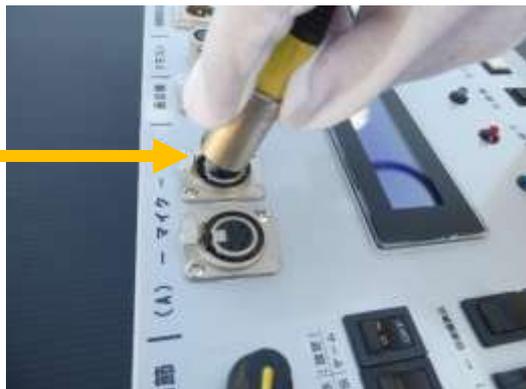


<騒音計マイクユニット>

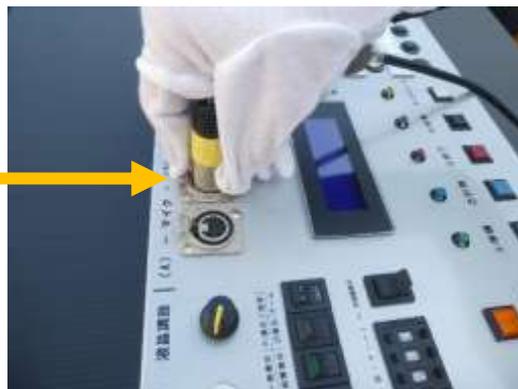


<騒音計マイクユニットへ4Pinケーブルを接続>

9 キャンコネクタの接続方法



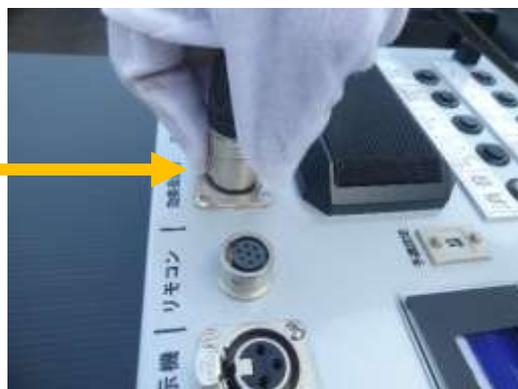
＜通信ケーブルの接続＞
カチッと音がするまで差し込む



＜通信ケーブルを外す＞
金具ピンを押しながらプラグを抜く



＜効果音出力ケーブルの接続＞



＜効果音出力ケーブルを外す＞
金具ピンを押しながらプラグを抜く



＜表示機通信 5Pin15m ケーブル＞ ＜騒音計マイクユニット通信 4Pin15m ケーブル＞

●ケーブルおよびマーカリングの色、ケーブルの長さ、コネクタの形状などの仕様は、製造ロットや部材の入手状況などにより変更となる場合があります。

そのため、お手元の機材が写真や図面、過去の資料などと外観上異なる場合がありますが、基本的な機能や接続方法に変更はありません。

接続の際は、マーカリングやコネクタ形状だけに頼らず、必ず各ケーブルの接続先表示や説明書の記載内容を確認のうえ、正しく接続してください。

10 スタンド



<表示機スタンドと収納袋>



<騒音計マイクスタンドと収納袋>



<赤色の危険ライン>表示のない製品もございます。設置前に必ず伸縮限界を確認し、安全を確保したうえでご使用ください。



<支柱は抜けます>



<ロックピン>

マイクスタンド：800mm～1330mm マイク底面まで
表示機スタンド：620mm～1450mm 表示機底面まで

1 1 設置方法（騒音計マイクユニット）

【重要】マイク 向きの調節方法

- ✦ 各部のネジを締めた状態で、本体を持って無理に向きを変えないでください。破損の原因となります。
- ✦ 黒箱部分とアーム部は一体構造のため、無理な力を加えると故障につながります。



接着剤で固定されています。

レバーアームは必ず後方から操作します。

前方にアームを持ってこないでください。

	金具全体を持って向きを変えないでください。 黒箱部分の内部電子部品を破損させる恐れがあります。
	上下方向は、レバーアームを緩めてレバーで向きを変えます。
	水平方向は、ネジを緩めて本体の向きを変えます。



このネジの操作は不要です

ネジの紛失防止のため、使用後は各ネジを所定の位置に締められた状態でご返却ください。

設置手順

1. 最下部のネジを緩め、脚部を適度に広げた後、確実に締め直してください。
2. 騒音計マイクユニットを取り付けてください。
3. マイクユニットと向きを調整する金具は一体構造です。取り外さないでください。
4. 設置後、各部のネジの締め付けを再確認してください。
5. 必ず転倒防止措置を講じてください。

予備騒音計を使用する場合

予備の騒音計を使用する場合は、スタンド上部のアルミ製アタッチメント金具を取り外してから取り付けてください。

使用後は、アタッチメント金具を必ずご返却ください。

1 2 設置方法（表示機）



- **表示機は、スタンドの支柱を差し込み設置してください。**
- **安全確保のため、ロックピンは必ず確実に差し込んでください。**

- ◇ 支柱は抜ける構造です。
- ◇ 高さを上げる際は、支柱に<赤色の危険ライン>表示がない仕様のももありますので、設置前に必ず伸縮範囲をご確認のうえ、安全にご使用ください。
- ◇ なお、支柱を先に適切な高さまで伸ばしてから表示機を載せると、より安全かつ容易に設置できます。

作業は必ず二人以上で行ってください。

片付け時にはネジの紛失を防ぐため、取り外したネジは必ず所定の位置に締め戻した状態でご返却ください。

設置手順

1. ネジを適度に緩め、脚部を十分に広げた後、確実に締め直してください。
2. 支柱の高さを調整し、ロックピンを確実に差し込んでから、表示機を載せてください。
3. 設置完了後、各部のネジが確実に締まっていることを再確認してください。
4. 必ず転倒防止措置を講じてください。

重要注意事項

- ◇ スタンド支柱の赤ラインは「危険ライン」です。これ以上伸ばさないでください。

- ◇ 赤ライン表示のないスタンドもありますので、設置前に必ず伸縮限界を確認してください。
- ◇ 支柱パイプは、ロックピンおよび固定が不十分な場合、抜ける構造です。
- ◇ 表示機を載せた状態で高さ調整（上げ下げ）を行うと、支柱や表示機本体が抜け、落下・転倒事故の原因となります。高さ調整は必ず表示機を載せる前に行ってください。
- ◇ 表示機は載せる構造であり、固定ネジ等はありません。

1 3 設置方法（スタンド転倒 注意事項）

※危険回避！

表示機は重量物（約 10kg）です。万が一転倒した場合、人に接触すると重大な事故につながるおそれがあります。

設置の際は、周囲の状況や動線を十分に考慮し、適切なスタンドの高さおよび設置方法を選定してください。

風の影響を受ける可能性がある場所では、重りやゴムバンド等を使用するなど、確実な転倒防止措置を講じてください。画像のように長机の上へ設置する方法も有効です。

表示機には通信ケーブルおよび電源コードの計 2 本を接続します。コードに足を引っ掛けて転倒させることがないように、配線経路を整理し、十分な養生を行ってください。

転倒防止措置および配線管理は、利用者の責任において実施してください。



<付属するスタンド>



<長机に載せた表示機>



（例）ブロック等を利用して転倒防止に務める



（例）ゴム紐等を利用して固定物へとめる



<広げた脚が狭いため不安定な状態>



<適當の広さ>



<片付けの際の間違い>
長くなり袋に収まらない



<片付けの際の間違い>
長くなり袋に収まらない

1 4 最初は設定を変更しないでテストしてください

- ✚ 出荷時設定のまま、すぐにご使用いただけます。
- ✚ 任意設定により演出内容の変更が可能です。
- ✚ 設定は最終ページ記載の方法で初期状態へ復元できます。

1 5 動作の確認方法

★すべての接続を完了させる

1. 接続および設置状況を再確認してください。コネクタが抜けかけていませんか。
2. 表示機の電源を接続してください（12V・5A／大型 AC アダプター）。
3. 操作卓の電源を接続してください（12V・2A／小型 AC アダプター）。
4. 騒音計後部の赤色 LED が点灯していることを確認してください。

★操作卓を使用して動作確認を行う

1. 設定スイッチ〔A・B・C・D〕をすべて OFF にしてください。
2. 操作禁止スイッチが ON になっている場合は、OFF にしてください。
3. 効果音「オープニングスタートレック」ボタンを押し、音量調節つまみで適切な音量に調整してください。
4. 効果音が音響設備へ正しく出力されているか確認してください。
5. 予選モードスイッチが「0（ゼロ）」になっていることを確認してください。
6. 〔⑤リセット〕LED が点灯していない場合は、〔⑤リセット〕ボタンを押し、リセットしてください。
7. 〔②計測〕ボタンを押し、液晶表示および測定動作を確認してください。
マイクに向かって実際に声を出して確認します。
8. ※無音状態でも環境音として約 60dB 前後の値が表示されます。
9. 〔③終了〕ボタンを押し、計測を終了してください。
10. 〔④発表〕ボタンを押し、結果表示を確認してください。
11. 〔⑤リセット〕ボタンを押し、初期化してください。
12. 必要に応じて設定内容を変更し、希望のモードでテストを続けてください。
本番前に、記録された最大値を必ず消去してください。

■ 正しく動作しない場合

- ・配線および設定内容を再確認してください。
- ・音響設備への接続がうまくいかない場合は、操作卓スピーカーから出力される音をマイクで直接拾う方法でも確認できます。

16 騒音計マイクユニット

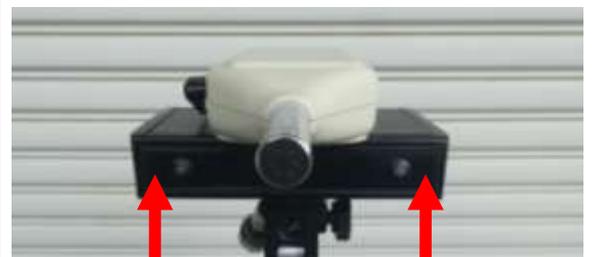
- ✚ 通信ケーブル1本で、信号および電源を供給しています。
- ✚ マイク下部の金属ケースにある電源コネクタへ、別途電源を接続する必要はありません。
- ✚ 金属ケースからマイク本体へ接続されているコードが確実に接続されているか、再確認してください。



- 信号入出力（キャノン5Pin）
操作卓へ4Pinケーブルで接続
- 電源入力（未利用）



- LED 5個（常時レベル点灯）
緑1：70dB、緑2：80dB
緑3：90dB、黄：100dB
赤：110dB

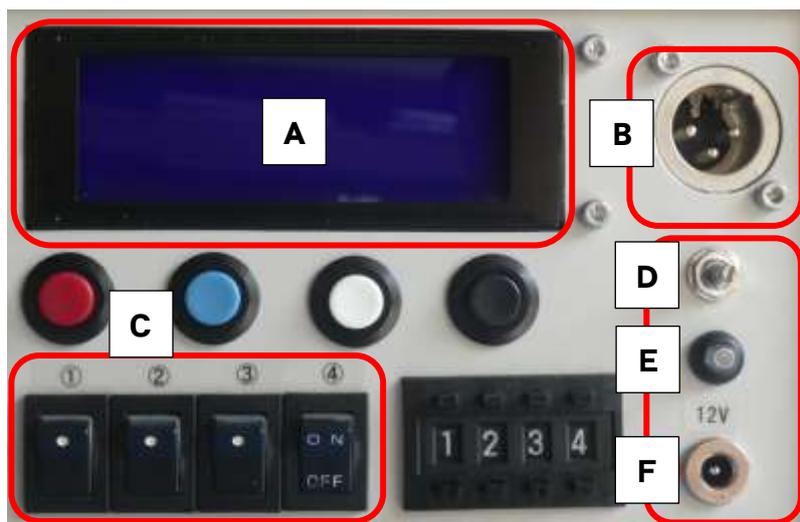


- LED 2個（同じ動作）

- ①準備：赤点滅 ●●●●●
- ②計測中：緑点灯 ●●●●●
- ③計測終了：消灯 ●●●●●

ブザーも●●●●●に連動して鳴る（設定変更可）

17 表示機背面のパネル



【表示機のウラ面 接続パネル】

●お手元に届いた状態（設定不要）ですぐにご利用いただけます。

- 【A】－ [液晶パネル]
- 【B】－ [信号入力] 大声操作卓へ接続する
- 【C】－ [①スイッチ] ONで設定モード 利用時はOFFにする
- 【C】－ [②スイッチ] くるくる回転の選択 OFFにする（ONでもよい）
- 【C】－ [③スイッチ] 内部制御（任意値表示機能） OFFにする
- 【C】－ [④スイッチ] 表示／非表示の選択 ONにする OFFで消灯
- 【D】－ [液晶調整] コントラスト調節つまみ
- 【E】－ [テストボタン] 表示のテスト
- 【F】－ [電源] 付属のACアダプタ（12V5A）を接続する



< 液晶パネルの表示例 >

●電源スイッチはありません

●使用しないときは電源（ACアダプタ）を外してください

※詳しい取扱い方法は「7セグ表示機」の説明書をご覧ください

■電源



<電源入力コネクタ>

12V5A 以上

電源スイッチはありません

付属の A C アダプタ以外の接続は厳禁

■液晶画面のコントラスト調節



<コントラスト調節つまみ>

液晶画面が見やすくなるように調節してください。
左右に回す

■設定／動作選択 スイッチ②



< >

スイッチ② ON: くるくる回転機能 (外部制御のみ有効)

新型操作卓 計測時の表示アクションに「くるくる回転機能」を追加。このスイッチが操作卓設定よりも優先される。通常利用はOFFに！

■表示テスト



<テスト中の液晶画面>

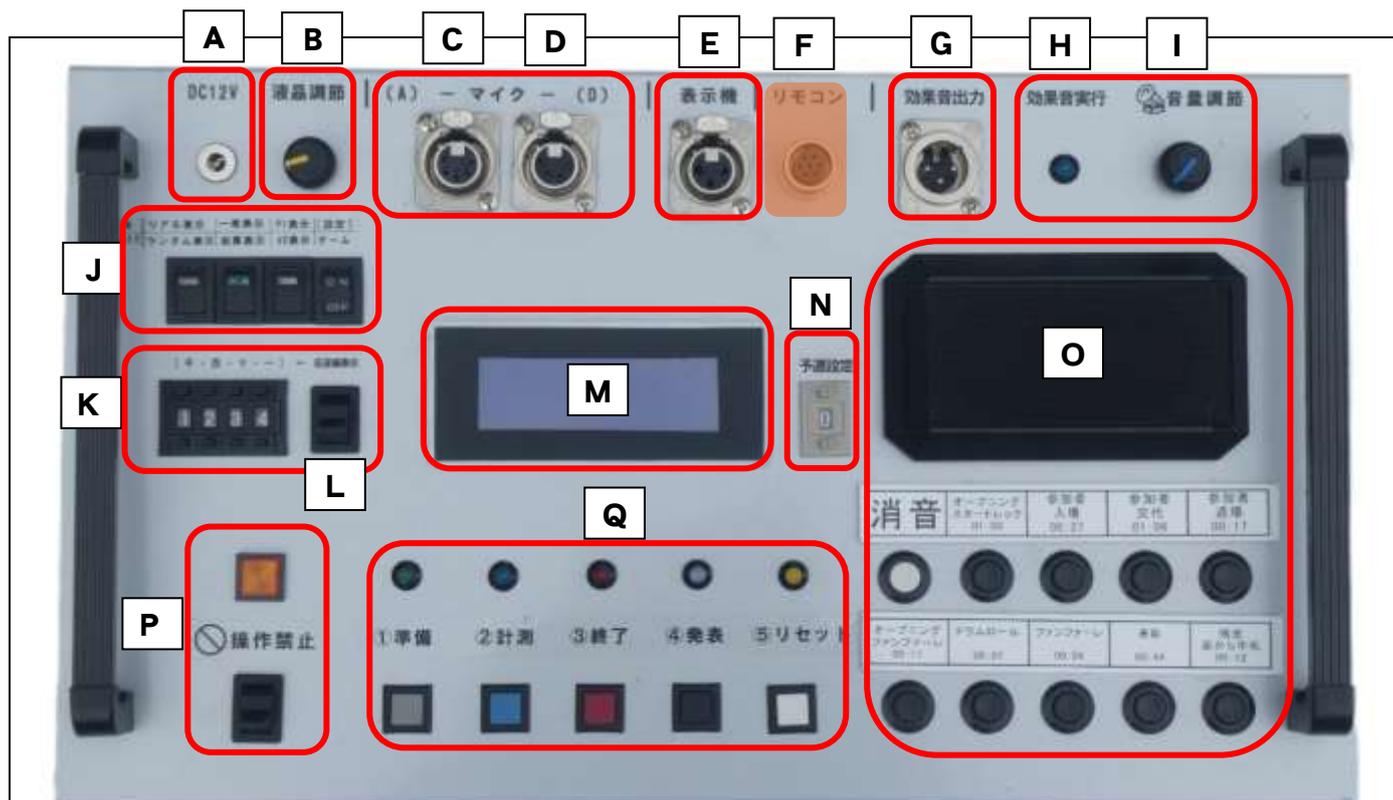


<テストボタン>

表示機の表示テストが行える

ボタンを押している間、表示値が [0000] → [1111] → [2222]・・・を繰り返し、ボタンのランプ点灯中はドットが点灯する。

18 操作卓パネルの説明

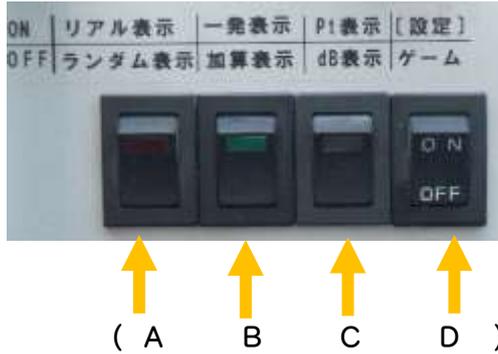


- 【A】－ [電源ジャック ACアダプタ (12V2A) を接続
- 【B】－ [液晶調整] コントラスト調節つまみ
- 【C】－ [マイク (A)] アナログマイクを接続
- 【D】－ [マイク (D)] デジタル (通信) マイクを接続
- 【E】－ [表示機] 表示機へ 3Pin コードで接続
- 【F】－ [リモコン] 未接続
- 【G】－ [効果音] ライン出力
- 【H】－ [効果音LED] 鳴っているときに点灯
- 【I】－ [効果音] 音量調節つまみ ▼ライン出力には連動しない

- 【J】－ [設定スイッチ] 左から A・B・C・D 表示方法などの設定
- 【K】－ [数値設定スイッチ] 任意値や各種設定に使用
- 【L】－ [任意値発表スイッチ]
- 【M】－ [液晶表示画面] 騒音レベルなどを表示
- 【N】－ [予選設定] ▼通常のゲームは【0】を選択
- 【O】－ [効果音スピーカーと操作ボタン]

- 【P】－ [操作禁止] 不用意な操作を防ぐスイッチ
- 【Q】－ [ゲーム操作ボタン] ゲームの操作ボタンとLED表示

19 設定方法（操作卓）



【設定スイッチ】左からA・B・C・D

- A : (赤) : (OFF) ランダム表示 / (ON) リアル表示
 B : (緑) : (OFF) 加算表示 / (ON) 一発表示
 C : (黄) : (OFF) デシベル表示 / (ON) ポイント表示
 D : () : (OFF) ゲーム / (ON) 設定

- ランダム表示：計測中はランダムな数字を表示
- リアル表示：計測中は設定（Range）の範囲内でリアルに値を表示
 - 設定（ピークホールド）との組み合わせで最大値を保持することができます。
- 加算表示とは：下限値から測定値へ数字が上昇表示
- 一発表示とは：即発表
- デシベル表示：30-130dB 出荷時設定 表示範囲変更可
- ポイント表示：0-100Pt 出荷時設定 表示範囲変更可



【予選設定スイッチ】

▼設定「1」から「6」選択時

事前にプリセットされているレベル値：デシベル表示（70 dB、80 dB、90 dB、100dB、110 dB）、ポイント表示（70 Pt、80 Pt、90 Pt、100 Pt、110 Pt）を超えると予選通過効果音（おめでとう的な音）、超えない場合は予選不通過効果音（ざんね～ん的な音）が鳴る。

▼設定「7」と「8」選択時

設定レベル値は操作卓の液晶画面で確認することができる。
 スイッチ上部（-）を押すと減算 下部（+）を押すと加算

▼設定「9」選択時

任意値を設定できる 設定値は任意値設定スイッチで行う
 設定の範囲は、利用する表示設定（デシベル表示 / ポイント表示）内の値としてください。

予選モードを利用しないときは、スイッチは「0」：通常モードの位置へ

	<p>【操作禁止機能】</p> <p>操作禁止スイッチを ON にすると、設定スイッチおよび予選設定を除くすべての操作（効果音を含む）が無効になります。同時に、本体は⑤リセット状態で待機します。</p> <p>本機能は、準備中などにオペレーターが誤ってボタンを操作してしまうことを防止するためのものです。操作禁止中は、オレンジ色のLEDが点滅して状態をお知らせします。</p>
	<p>【液晶コントラスト調整】</p> <p>液晶画面の文字が見えにくい場合に調節するつまみ</p>

20 記憶できる設定内容

✚ 設定スイッチをONにすることで設定を可能とします。

✚ 設定内容は電源を切っても記憶されています。

[1] 略称 M：マイクセレクト アナログ／デジタル（通信）

➢ 特機なき場合はデジタルマイクをお届けします

[2] 略称 P：ピークホールド リアル計測時 ON/OFF

➢ リアル計測時に有効な機能で設定（ピークホールド）との組み合わせで最大値を維持します。

[3] 略称 S：スタートディスプレイ 計測時の表示 ON/OFF

➢ 計測時の表示を点灯／消灯する

[4] 略称 Z：ゼロ 表示機のゼロ表示 ON/OFF

➢ リセット時のゼロを表示する

[5] 略称 D：ドット 表示機のドット ON/OFF

➢ ドットを点灯／消灯する

[6] 略称 B：ブザー&LED デジタルマイクのみ ON/OFF

➢ マイクユニットのブザーとLEDをON/OFFする

[7] から [13]

効果音 (1) から (7) の個別 ON/OFF ※個別に音量の調節はできません

効果音 (1) セット 1:ON 0:OFF

効果音 (2) ストップ 1:ON 0:OFF

効果音 (3) 加算開始 1:ON 0:OFF

効果音 (4) 加算停止・発表 1:ON 0:OFF

効果音（5）得点の更新 1:ON 0:OFF

効果音（6）予選通過 おめでとう 1:ON 0:OFF

効果音（7）予選不通過 ざんね～ん 1:ON 0:OFF

（#0 通常のゲームモード）測定値表示の拡張機能

➤ 騒音計からの値（0～130dB）を自由にマッピングできます

〔14〕 Range（dB UL）出荷時設定 130.0

〔15〕 Range（dB LL）出荷時設定 0.0

〔16〕 Range（Pt UL）出荷時設定 100.0

〔17〕 Range（Pt LL）出荷時設定 0.0

（#9 予選モード）予選通過値の拡張機能

➤ 予選通過値に幅を持たせて設定できます。

〔18〕 Range（dB UL）出荷時設定 100.0

〔19〕 Range（dB LL）出荷時設定 95.0

〔20〕 Range（Pt UL）出荷時設定 90.0

〔21〕 Range（Pt LL）出荷時設定 85.0

出荷時の初期設定値



2 1 操作卓液晶画面（設定モード）

◆設定内容確認（出荷時の設定内容）



1. 〔設定〕スイッチをON
設定内容確認ページ（*1）が表示される
2. 〔準備①〕ボタンを一度押すと
設定内容確認ページ（*2）が表示される
3. 続いて〔計測②〕ボタンを一度押すと
設定内容確認ページ（*1）が表示される

```
*1 MD-P0-S1-Z1-D1-B1
dB UL:130.0>LL: 30.0
Pt UL:100.0>LL: .0
Sound:111111 (1=ON)
```

【*1】設定内容確認ページ① 出荷時初期設定値

M：マイクセレクト (0)A アナログ / (1)D デジタル (通信)

P：ピークホールド リアル計測時 (1)ON / (0)OFF

S：スタートディスプレイ 計測時の表示 (1)ON / (0)OFF

Z：ゼロ 表示機のゼロ表示 (リセット時) (1)ON / (0)OFF

D：ドット 表示機のドット (1)ON / (0)OFF

B：ブザー&LED デジタルマイクのみ (1)ON / (0)OFF

dB UL：デシベル表示の上限値 (130.0)

dB LL：デシベル表示の下限値 (30.0)

Pt UL：ポイント表示の上限値 (100.0)

Pt LL：ポイント表示の下限値 (0)

UL = upper limit

LL = lower limit

Sound：すべて (1)ON

```
*2 Yosen Range #9
dB UL:100.0>LL: 95.0
Pt UL: 90.0>LL: 85.0
```

【*2】確認ページ② 出荷時初期設定値

予選モード「設定9」 レンジ 上限値・下限時の設定
スイッチ上部 (-) を押すと減算 下部 (+) を押すと加算

dB UL : デシベル表示の上限値 (100.0)

dB LL : デシベル表示の下限値 (95.0)

Pt UL : ポイント表示の上限値 (90.0)

Pt LL : ポイント表示の下限値 (85.0)

◆設定内容確認（出荷時の設定内容）



1. 〔設定〕スイッチをON
2. 設定内容確認ページ 液晶画面左上に（＊1）が表示される
3. 〔準備①〕ボタンを一度押すと設定内容確認ページ 画面左上に（＊2）が表示される
4. もう一度押すと、設定項目 1（画面左上）の数字が点滅し変更可能となる
5. 〔終了③〕または〔発表④〕ボタンで値を選ぶ
6. 以降、〔準備①〕ボタンを押すと設定項目が加算、〔計測②〕ボタンで減算
7. 〔終了③〕または〔発表④〕ボタンで値を選ぶ
8. 〔設定〕スイッチをOFFで記憶される

```
1: Mic select: DIGITAL
2: Peak hold : OFF
3: Start disp: ON
SEL+ : SEL- : 1 : 0
```

▼設定項目〔1〕マイクの選択

(1)DIGITAL: 通信マイク（標準品）

(0)ANLOG: アナログマイク

▼設定項目〔2〕ピークホールド

リアル表示選択時最大値を保持する

(1)ON / (0)OFF

▼設定項目〔3〕スタートディスプレイ

計測時の表示

(1)ON / (0)OFF

```
4: Zero: ON   5: Dot: ON
6: Bz : ON
7: Sound: 111111 1=ON
SEL+ : SEL- : 1 : 0
```

▼設定項目〔4〕リセット時ゼロ表示の選択

(1)ON / (0)OFF

▼設定項目〔5〕ドット表示の選択

(1)ON / (0)OFF

▼設定項目〔6〕ブザー&LEDの選択

(1)ON / (0)OFF

▼設定項目〔7〕制御系効果音の選択

(1)ON / (0)OFF

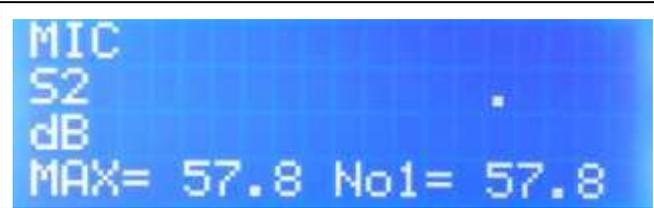
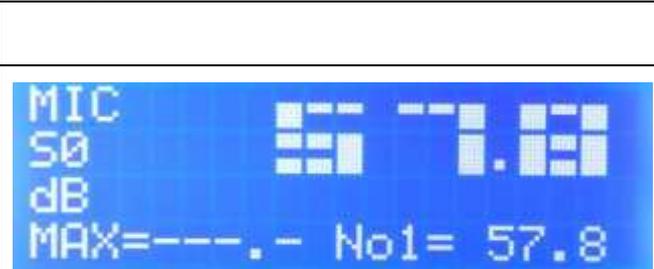
通常は全てONで使用する

- 7: 左から順にサウンド1、2、3、4、5、6、7
- ♪サウンド1: 準備 ダダダダーン!
 - ♪サウンド2: 計測終了 ジャジャジャジャン!
 - ♪サウンド3: 発表音（加算時）軽快な曲
 - ♪サウンド4: 発表 パッカカパー♪
 - ♪サウンド5: 発表（更新時）派手な曲
 - ♪サウンド6: 予選 おめでとう
 - ♪サウンド7: 予選 ざんね～ん

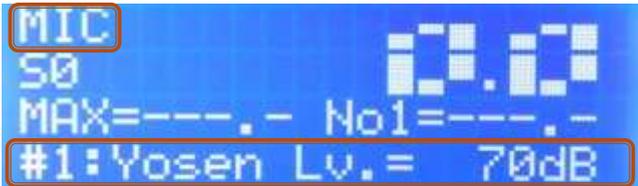
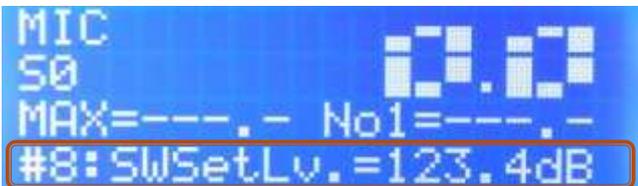
<pre>14:Range(dB UL) (#0) dB UL:130.0 LL: 30.0 Pt UL:100.0 LL: 0.0 SEL+ : SEL- : 1 : 0</pre>	
<pre>18:Range(dB UL) (#9) dB UL:100.0 LL: 95.0 Pt UL: 90.0 LL: 85.0 SEL+ : SEL- : 1 : 0</pre>	
	<p>設定スイッチを OFF にすると、現在の設定内容が保存されます。</p> <p>保存された設定内容は、電源を OFF にしても保持されます。</p>

2 2 操作卓 液晶画面（通常計測モード）

	<p>通常計測ゲームは、「0」</p> <p>スイッチ上部 (-) を押すと減算 下部 (+) を押すと加算</p>
 <p>デジタルマイク（通信マイク）利用時、正常に通信が行われている時に液晶左上の「MIC」が点灯します。</p>	<p>▼リセット時の表示</p> <p>S0：制御系効果音が無音（0）を示しています。</p> <p>dB：デシベルモード</p> <p>0.0：表示機へ送られる値</p> <p>MAX：計測中の最高値</p> <p>No1：記憶された最高値</p>
	<p>▼計測中の表示例</p> <p>表示機の値（ランダム表示：0N時）</p> <p>MAX=57.0：計測中の最大値を示している</p>

	<p>▼計測終了 最大値を記憶</p>
	<p>▼</p>
	<p>▼</p>
	<p>▼リセット 左写真では最大値 (No1) 57.8 と記憶されている</p>
	<p>▼最大値表示 リセット状態で発表④ボタンを押すと最大値が表示される</p>
	<p>▼記憶された最大値を消去する 〔⑤リセット〕ボタンを長押しする ※必ずしも消去する必要はありません</p>
	<p>▼最大値消去完了</p> <p>MIC 貼る h j l s d f j s / ; j s o j k p ;</p>

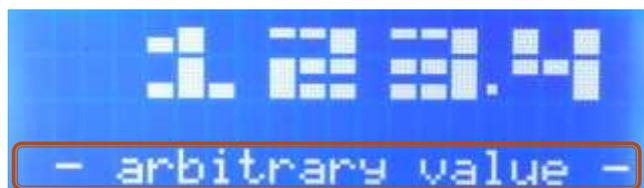
2 3 操作卓 液晶画面（予選計測モード）

	<p>予選計測モードは、「1」から「9」</p> <p>スイッチ上部 (-) を押すと減算 下部 (+) を押すと加算</p>																					
 <p>デジタルマイク（通信マイク）利用時、正常に通信が行われている時に液晶左上の「MIC」が点灯します。</p> <p><予選計測モード「1」、デシベル表示の画面></p>	<p>▼設定「1」から「6」選択時</p> <table border="1" data-bbox="794 573 1481 936"> <thead> <tr> <th>予選設定スイッチ</th> <th>デシベル</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定「1」</td> <td>70dB</td> <td>40Pt</td> </tr> <tr> <td>設定「2」</td> <td>80dB</td> <td>50Pt</td> </tr> <tr> <td>設定「3」</td> <td>90dB</td> <td>60Pt</td> </tr> <tr> <td>設定「4」</td> <td>100dB</td> <td>70Pt</td> </tr> <tr> <td>設定「5」</td> <td>110dB</td> <td>80Pt</td> </tr> <tr> <td>設定「6」</td> <td>120dB</td> <td>90Pt</td> </tr> </tbody> </table>	予選設定スイッチ	デシベル	ポイント	設定「1」	70dB	40Pt	設定「2」	80dB	50Pt	設定「3」	90dB	60Pt	設定「4」	100dB	70Pt	設定「5」	110dB	80Pt	設定「6」	120dB	90Pt
予選設定スイッチ	デシベル	ポイント																				
設定「1」	70dB	40Pt																				
設定「2」	80dB	50Pt																				
設定「3」	90dB	60Pt																				
設定「4」	100dB	70Pt																				
設定「5」	110dB	80Pt																				
設定「6」	120dB	90Pt																				
	<p>▼設定「7」選択時</p> <p>計測値にかかわらず予選通過音が鳴る</p>																					
	<p>▼設定「8」選択時</p> <p>レベル設定は、任意値設定スイッチ（4桁）で行う 設定範囲は、利用する表示設定（デシベル表示／ポイント表示）内の値としてください。リセット時に値を読み込みます。</p>																					
	<p>▼設定「9」選択時</p> <p>設定は設定モード内で行う レベル設定は、任意値設定スイッチ（4桁）で行う</p>																					

2 4 操作卓 液晶画面（任意値表示）



- 任意値表示機能は、ゲームモード「0」、予選モード「1」から「9」よりも優先する。
- 数字の上下にある突起を押すことで値を変更させる
- 右側のスイッチONで表示させることができる
- 表示中の値変更可
- ドット、ゼロについては、設定内容に従う



表示中の液晶画面

■ゼロサプレス機能について

ゼロサプレス機能は表示機側の設定で制御される機能であり、操作卓側にはゼロサプレスを ON/OFF する設定項目はありません。そのため、表示動作は表示機の設定状態によって以下のように変化します。

・ゼロサプレス ON の場合

数値が「0」のときは、表示は完全消灯となります。

・ゼロサプレス OFF の場合

数値が「0」のときは、表示は 0000 と表示されます。

このため、ゼロサプレス OFF 時には未カウント状態でも常に 0000 が表示されます。

■数値設定スイッチ〔0000〕時の表示動作

操作卓の数値設定スイッチが〔0000〕の状態のときは、システム仕様により表示は消灯状態となります。

そのため、

「0」を表示させたい場合は、表示機側の設定である

ゼロライト ON (Zero Light ON)

を ON に設定してください。

この設定を ON にすることで、

値がゼロの状態でも「0」表示が維持されます。

■ドット表示機能とゼロ表示機能

ドット表示およびゼロ表示の動作は、
操作卓側の設定に従って動作します。
動作仕様は以下の通りです。

【操作卓ドット機能 ON の場合】

値がゼロのときの表示は

0.0

となります。

【操作卓ドット機能 OFF の場合】

値がゼロのときの表示は

0

となります。

この仕様は、得点表示やカウンター用途など、
表示形式を用途に応じて切り替えるための機能です。

■発表ボタンによる表示消灯（押し消し機能）

操作卓の **発表ボタン**には
押し消し機能が備わっています。

ボタンを押している間は
表示機の表示が **一時的に消灯**します。

この機能は主に以下の用途で使用されます。

- ・ 解答発表前の演出
- ・ 表示を一時的に隠す進行演出
- ・ 得点公開タイミングの調整

ボタンを離すと、表示は元の状態に戻ります。

25 操作ボタンと動作



<制御系操作ボタン>

- 【① 準備】：騒音計（赤LED 2度点滅）（ブザーが二度鳴る）
- 【② 計測】：計測開始（設定A）による表示アクション、騒音計（緑LED点灯）
- 【③ 終了】：計測終了 表示機消灯、騒音計（緑LED消灯）
- 【④ 発表】：計測値発表 効果音（設定B）による表示アクション
- 【⑤ リセット】：表示（0.0）、無表示
- 【⑤ リセット】：（2秒長押）：最大値記憶の消去

- ✚ 最大値記憶は電源を切っても記憶されています。
- ✚ 最大値記憶は任意の値を設定可能（消した時の修正機能）

最高値を更新すると更新効果音と表示機点滅アクションで派手に演出

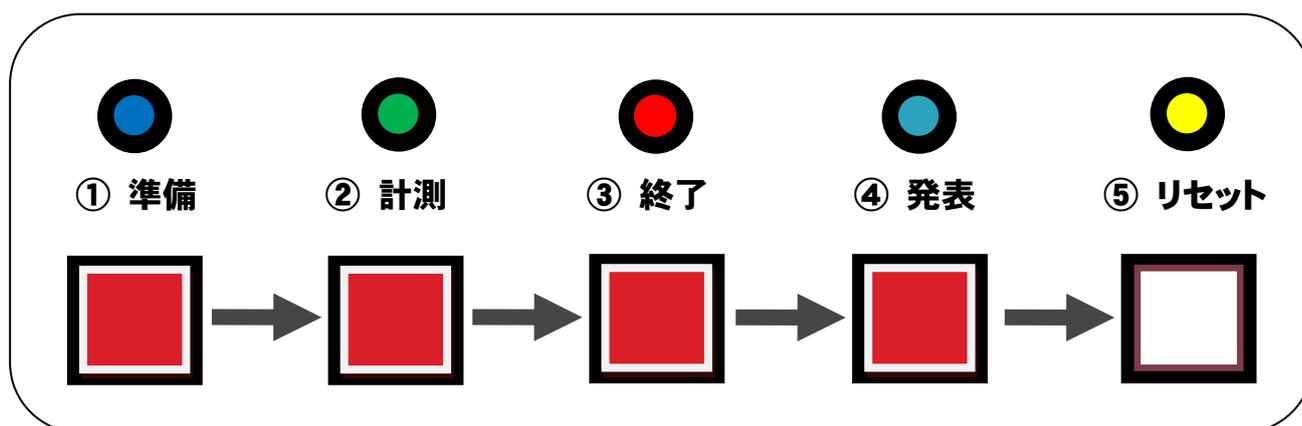
※最高値のデータが空の状態を始めると最初の測定者は最高値アクションとなります。

ゲーム進行上の誤操作を防ぐために、現在の状態から次に押せるボタンを制限しています。

	①準備	②開始	③終了	④発表	⑤リセット	←押したボタン
①準備	▼▼▼	◇	◇	◇	●	
②開始	●	▼▼▼	◇	◇	●	
③終了	◇	●	▼▼▼	◇	◇	
④発表	◇	◇	●	▼▼▼	●	
⑤リセット	●	●	●	●	▼▼▼	
↑次に押せないボタン						

（▼▼▼＝現在動作中 ●＝押せる ◇＝押せない 例）①準備を押したら次に③終了は押せない）

2 6 利用方法 通常の計測モード



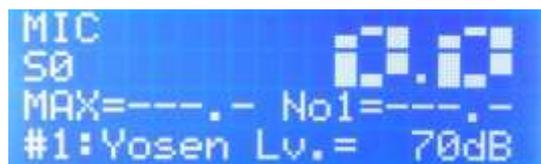
特徴：自由なタイミングで操作することができます。

操 作	内 容
①準備	効果音鳴る→騒音計（赤色 LED 2 回点滅 ●●●● ブザー）、表示は消灯
②計測	騒音計（緑色 LED 点灯 ●）
③終了	表示は消灯→効果音鳴る→騒音計（緑色 LED 消灯 ● ブザー）
④発表	効果音鳴る→設定に従い表示
⑤リセット	表示は、[0.0]など

【注意事項】

- ✚ 「準備」ボタンは任意操作です。使用の有無は利用者の判断によります。
- ✚ 「①準備」から「②開始」への移行時には、騒音計マイクユニットのブザー音が計測対象に含まれないよう、一定の時間間隔を設ける仕様となっています。
- ✚ 本製品は誤操作防止のため、現在の動作状態に応じて操作可能なボタンのみを有効とする制御を行っています。

27 利用方法 予選計測モード



予選設定スイッチは数字の上下にある出っ張りを押しこむことで設定値を変更可能

予選設定スイッチ「1」から「9」で予選モードON

デシベル表示時 「1」: 70dB 「2」: 80dB 「3」 90dB 「4」 100dB 「5」 110dB 「6」 120dB

ポイント表示時 「1」: 40Pt 「2」: 50Pt 「3」 60Pt 「4」 70Pt 「5」 80Pt 「6」 90Pt

- ✦ 「1」～「6」選択時は、計測値が設定値を超えた場合に予選通過効果音が鳴ります。
- ✦ 「7」選択時は、計測値に関係なく予選通過効果音が鳴ります。
- ✦ 「8」選択時は、計測値が設定範囲内であれば予選通過効果音が鳴ります。
- ✦ 上記以外の場合は、予選不通過効果音が鳴ります。
- ✦ 設定レベル値は、操作卓の液晶画面で確認することができます。



「9」選択時の設定値は、任意値設定スイッチにより設定してください。

※設定範囲は、設定値の中の値としてください。

予選モードを利用しないときは、スイッチは「0」の位置へ

【注意事項】

- ✦ 「準備」ボタンは任意操作です。使用の有無は利用者の判断によります。
- ✦ 「①準備」から「②開始」への移行時には、騒音計マイクユニットのブザー音が計測対象に含まれないよう、一定の時間間隔を設ける仕様となっています。
- ✦ 本製品は誤操作防止のため、現在の動作状態に応じて操作可能なボタンのみを有効とする制御を行っています。

28 効果音



操作卓には、あらかじめ 16 種類の効果音が内蔵されています。効果音の内容はオプションにて変更可能です。変更をご希望の場合は、事前にご相談ください。

操作卓内蔵スピーカーの音量は、スピーカー上部の音量調節つまみにより適切な音量に調整してください。効果音作動中は、青色 LED が点灯します。

【消音】上段左端のボタンを押すことで、再生中の効果音を停止することができます。

効果音は、会場の音響設備または持ち込みの音響設備へモノラルでライン出力することが可能です。

ライン出力仕様は以下のとおりです。

- ・コネクタ：キャノン 3P（オス）
- ・1 番：グランド
- ・2 番：ホット
- ・出力方式：アンバランス

なお、操作卓内蔵スピーカーの音量調節つまみでは、ライン出力レベルを調整することはできません。

効果音をフェードアウトする場合は、接続先の音響設備側で調整してください。

外部機器への接続資料

機器	ケーブル	コネクタの形状
 <p>ミキサーへの接続</p>	 <p>キャノン 3P オスメスコード</p>	
 <p>ギターアンプへの接続</p>	 <p>キャノン 3P メス-フォン</p>	
 <p>有線マイクで直接集音</p>	 <p>キャノン 3P メス-フォン</p>	

■効果音 演出系（ボタンスイッチで操作）

対応	内容	時間	ファイル名
オープニング	スタートレックのテーマ	1分	
回答者入場		27秒	
回答者交代		1分5秒	
回答者退場		17秒	
オープニングファンファーレ		11秒	
ドラムロール		7秒	
ファンファーレ		4秒	
表彰		44秒	
残念	鼻から牛乳	12秒	

■効果音 制御系（ゲームの進行に合わせて自動的に鳴る）

対応	内容	時間	ファイル名
①準備	ダダダダーン！	1秒	
②計測	無音		
③終了	ジャジャジャジャン！	1秒	
④発表	軽快な曲	8秒	
発表 → 得点停止	パッカカパー♪	2秒	
発表 → 得点更新	派手な曲	2秒	
予選モード（通過）	おめでとう	2秒	
予選モード（不通過）	ざんね～ん	2秒	

演出系効果音は、ゲームの進行状況に関係なく、いつでも再生することができます。

効果音は、後に押されたボタンの操作が優先されます。

例)「②発表」ボタンを押して効果音が再生中に、ファンファーレや消音などの演出系効果音ボタンを押した場合、ゲーム進行はそのまま継続し、効果音のみが切り替わります。

ゲーム進行中は、誤操作防止のため、不要なボタン操作を行わないようご注意ください。

29 梱包サイズと重量



●梱包箱のサイズと重量

(ヤマト運輸 160 サイズ×1 個 180 サイズ×1 個)

手前側の箱のサイズ 操作卓、マイク、スタンド、ケーブルなど	940mm×230mm×H:430mm 重量：16kg
奥側の箱のサイズ 表示機のみ	1090mm×210mm×H:440mm 重量：13 kg

●各機器のサイズなど

表示機	横幅：1038mm×奥行：160mm×高さ：440mm 突起物は除く 重量：10kg
表示機スタンド	620mm～1450mm 表示機下部までの高さ
騒音計マイクユニットスタンド	800mm～1330mm 騒音計ユニット下部までの高さ
操作卓の青箱	横幅：455mm×奥行：315mm×高さ：170 mm 突起物は除く

○参考 従来型の梱包箱のサイズと重量

(ヤマト運輸 160 サイズ×2 個)

手前側の箱のサイズ 操作卓、マイク、スタンド、ケーブルなど	940mm×230mm×H:430mm 重量：16kg
奥側の箱のサイズ 表示機のみ	360mm×830mm×H:41mm 重量：13 kg

○参考 従来型の各機器のサイズなど

表示機	横幅：855mm×奥行：160mm×高さ：330mm 突起物は除く
表示機スタンド	620mm～1450mm 表示機下部までの高さ
騒音計マイクユニットスタンド	800mm～1330mm 騒音計ユニット下部までの高さ
操作卓の青箱	横幅：455mm×奥行：315mm×高さ：170 mm 突起物は除く

※寸法は実測したのですがお届けする品や扱い方によっては多少の差がでることをご了承ください

30 あと片づけの注意とお願い

【片づけ手順】

1. 操作卓および表示機の電源を切り、接続コードをすべて外してください。
2. 転倒防止のため、表示機本体を先に片づけてください。
3. 緩めたネジは、紛失防止のため必ず締め直してください。
4. 機材の状態および数量を確認し、梱包・出荷してください。

■お願い

- ・コードは巻かずに、そのまま箱へ入れてください。
- ・チェックシートで数量を確認し、受取時と同様の状態で梱包してください。
- ・ご意見・ご希望・ご感想などがございましたら、チェックシートへご記入ください。
- ・商品に不具合等があった場合は、メモを同梱していただけますと幸いです。

コードを傷めないために



“コードは巻かず”にそのまま箱へ入れてください。

※強くねじる・固く束ねるなどの巻き方は、断線や故障の原因となりますので絶対に行わないでください。



この巻き方は絶対にしないで！

3 1 機材チェックシート（見本）

－ 大声測定器 機材チェックシート －

- この度は、大声測定器をご利用いただきありがとうございます。
- ご使用前に機材の数量をご確認のうえ、取扱説明書に従ってお取り扱いください。
- **ご利用後のケーブルは巻かずに、そのままの状態でご返却ください。**
- ご不明な点がございましたら、090-3041-6033 岡 までご連絡ください。

レンタル先：	納入予定日	：	年	月	日
	ご利用日	：	年	月	日
	返却発送日(厳守)	：	年	月	日
品名	基本数 (追加数)	発送 確認	受取 確認	発送 確認	
操作卓(アタプタ付電源コード 2A)	1台 ()				
表示機(アタプタ付電源コード 5A)	1台 ()				
騒音計マイクユニット・プラ箱	1台 ()				
表示機スタンド	1本 ()				
騒音計マイクユニットスタンド	1本 ()				
通信 4Pin ケーブル 15m	1本 ()				
通信 5Pin ケーブル 15m	1本 ()				
マニュアル一部(要返却)	一冊 ()				
運送伝票	1枚 ()				
運搬用通函	2個 ()				
予備騒音計					

動作確認				
見た目の異常				
(具体的に記入)				

【アンケート】

満足度：とても満足・満足・普通・不満・とても不満（○で囲んでください）

- ご意見・ご希望・ご感想などがございましたら、ご自由にご記入ください。

3 2 よくある質問と答え

▼3桁表示は可能ですか

事前にご相談ください。
同仕様の3桁表示機をご用意いたします。

▼計測時の表示が回転してしまいます

表示機の設定スイッチ②を「OFF」に設定し、回転機能を停止してください。

▼回転機能とは何ですか

操作卓から計測中の信号を受信した際に、表示機側で表示演出を行う機能です。
通常、計測時の表示は
「消灯」「ランダム表示」「リアル表示」「リアル表示+ピークホールド」
のいずれかですが、表示機側で本機能を「ON」にすると、計測時に表示が回転します。
なお、本機能は操作卓の表示設定より優先されます。

▼大声測定器のほかに必要なものは何ですか

- ・ 操作卓および表示機用の電源 (AC100V)
- ・ 電源ドラムまたは延長コード
- ・ 騒音計マイクユニットまでの距離を一定に保つためのライン (テープ等)
- ・ 得点記入用の用紙、筆記具などの備品

▼測定用のマイク入力が2つありますが

- ・ 3桁簡易型マイク使用時：マイク入力 (A：アナログ) へ接続
 - ・ 4桁標準型マイク使用時：マイク入力 (D：デジタル) へ接続
- 使用するマイクの種類は、必ず設定で指定してください。

▼アナログマイクとデジタルマイクの違いは何ですか

測定精度に差はありません。
デジタルマイクは通信方式のため、ケーブルの延長が可能です。
アナログマイクの付属ケーブルは15mです。
デジタルマイクのケーブル延長をご希望の場合は、事前にご相談ください。

▼スムーズに進行させるための注意点はありますか

他の催しと同ステージで実施する場合は、事前に表示機・騒音計マイクユニット・操作卓の設置位置を決定し、ビニルテープ等でマーキングしてください。
表示機は重量があるため、スタンドに載せたままの移動は危険です。可能であれば事前設置を推奨します。
ステージ転換時に設営する場合は、

- ・ スタンド担当 1名
- ・ 表示機担当 2名
- ・ ケーブル管理 1名

の計4名体制で作業してください。

スタンドを使用せず、キャスター付きの長机を利用すると転換作業が円滑に行えます。

▼最大値はいつ計測されますか

計測開始から終了までの間に記録された最大値が表示されます。平均値ではありません。

一時的であっても大きな声が入力された場合、その値が最大値として記録されます。

▼騒音計マイクユニットと参加者との距離はどのくらいが適切ですか

身長差によりマイクとの距離が変わるため、大人の部と子どもの部で高さを調整することを推奨します。一般的な騒音測定では、音源から1mの距離で測定する方法が用いられます。

本機はゲーム用途のため、実際に大きな声を出していただき、100デシベル前後となる距離を目安に設定すると効果的です。

次回以降も同様のイベントを行う場合は、マイクとの距離を記録しておくことで、結果の比較が可能になります。

▼騒音計マイクの向きによる影響はありますか

本機のマイクは無指向性（全方向から集音）です。口元方向へ向けて設置すれば、測定上の問題はありません。

ただし、距離が変わると測定値に大きく影響します。参加者間の公平性を確保するため、口元からマイクまでの距離は一定に保ってください。

▼ゼロにならず、常に40～60デシベル程度が表示されます

測定範囲は30～130デシベルです。

静かな環境でも環境音が存在するため、40～60デシベル前後が表示される場合があります。近くに音源がある場合は、その音が計測されます。

▼会場設備が不明で接続できるか不安です

万が一、接続端子の形状が合わない場合は、操作卓の内蔵スピーカーにワイヤレスマイク等を向けて集音することで、応急的な対応が可能です。

▼ライン出力から直接スピーカーへ接続できますか

ライン出力は、ミキサー・アンプ・アンプ内蔵スピーカー等へ接続するための出力レベルです。

パッシブスピーカーへ直接接続して音を出すことはできません。

▼効果音を鳴らさずに使用したい

音量調節つまみを左に回し切り、ゼロ位置に設定してください。

▼効果音を変更したい

事前にご相談ください。

効果音データはお客様にてご用意いただきます。別途作業費が必要です。

▼通信ケーブルの延長はできますか

事前にご相談ください。

45mでの実績はあります。

▼ウインドスクリーンの目的は何ですか

風切り音を誤って測定することを防ぐためのものです。常時装着したままで問題ありません。

▼転倒防止対策について

ブロック等の重量物を設置し、ロープなどでスタンドを下方向へ固定してください。

▼測定値をリアルタイムで表示したい

設定スイッチで「リアル表示」をONにし、②計測ボタンを押してください。

▼表示の明るさを下げることはできますか

本体での調整はできません。フィルター等を使用して減光する方法が有効です。

▼観客の拍手を測定できますか

利用実績があります。

拍手を平均的に集音できる位置へマイクを設置することが重要です。特定の参加者の拍手のみを拾わないよう、観客席から適度な距離を確保してください。

事前に複数の設置候補位置でリハーサルを行い、最適な位置を決定することを推奨します。

ご不明な点がございましたら、時間に余裕をもって
事前にお問い合わせください。

四国電飾工芸

電話 (088)843-1601 携帯 090-3041-6033

3 3 予備騒音計の利用方法

◆安心のための予備騒音計、万が一のときにご利用ください。



予備騒音計は、表示機や操作卓に接続することはできません。

本番用の電池をご用意ください。単三アルカリ 4 本（3 本）

- ① 左下の電源スイッチを押す 起動
- ② A/C ボタンを押して「A」に設定
- ③ FAST/SLOW ボタンを押して「FAST」に設定
- ④ 中央部上下のボタンを押して、測定範囲：最低を30、最大を130に設定

②から③の設定状況は液晶画面で確認できます。

※電源を切ると設定が消える場合がありますので注意してください

測定方法 > 大声を測定するときに「MAX」ボタンを押すと、それ以降の最大値を保持します。もう一度押すと保持が解除されます。

※同機種でデザインが異なる場合がございます。ご了承ください。

◆予備騒音計の取り付け方



〈左側：予備騒音計〉 〈右側：デジタル騒音計〉



左：16mmダボ金具凸 右：5/8 ネジ



アルミ製のアタッチメント金具

マイクスタンドの上部に付いている「アルミ製のアタッチメント金具」を外してから、予備騒音計を取り付けてください。外した金具は元に戻しお返してください。

3 4 設定値の初期化方法（出荷時の状態に戻す）



1. 設定スイッチを ON にします。
2. 〔③終了ボタン〕と〔④発表ボタン〕を同時に押すと、初期化が実行されます。
3. 液晶画面に「フォーマット」と表示されます。

■ 初期化実行条件

設定内容確認ページ「*1」または「*2」の画面表示時のみ実行可能です。

■ 初期化できない場合

設定スイッチを一度 OFF にし、再度 ON にしてから操作を行ってください。

初期化を実行すると、保存されている設定内容はすべて出荷時状態に戻ります。

```
*1 MD-P0-S1-Z1-D1-B1
dB UL:130.0>LL: 30.0
Pt UL:100.0>LL: .0
Sound:111111 (1=ON)
```

<初期化後の設定画面 * 1 >

```
*2 Yosen Range #9
dB UL:100.0>LL: 95.0
Pt UL: 90.0>LL: 85.0
```

<初期化後の設定画面 * 2 >

- 〔1〕 マイクセレクト デジタル（通信） 値：1
- 〔2〕 ピークホールド リアル計測時 OFF 値：0
- 〔3〕 スタートディスプレイ 測定時の表示 ON 値：1
- 〔4〕 ゼロ 表示機のゼロ表示（リセット時） ON 値：1
- 〔5〕 ドット 表示機のドット ON 値：1
- 〔6〕 ブザー&LED デジタルマイクのみ有効 ON 値：1
- 〔7〕 効果音 全て ON 値：1

●機器の取扱いおよびお問い合わせについて（重要）

本機器をご使用になる前に、必ず本取扱説明書を最後までお読みください。

説明書の内容を確認せずに機器へ触れたり操作を行うことは、誤動作や機材トラブルの原因となるためお控えください。

本番前には必ず事前の動作確認を行い、操作方法や各機能に十分慣れてからご使用ください。特にイベント運用など時間制約のある現場では、事前確認を行わない状態での使用は予期せぬ進行トラブルにつながる可能性があります。

また、機器に関するお問い合わせについては、当社では 24 時間体制での電話対応は行っておりません。

状況により電話に出られない場合がございますので、機材使用直前ではなく、時間に余裕をもってお問い合わせいただきますようお願いいたします。

なお、取扱説明書の未確認や事前確認不足によって生じた運用上のトラブルにつきましては、対応が困難となる場合がございますのであらかじめご了承ください。

四国電飾工芸

電話 (088)843-1601 携帯 090-3041-6033